

ご寄付のお申し込み・お払い込み方法

銀行の窓口から：同封の払込取扱票で下記金融機関からお振り込みください。

●取扱金融機関：ゆうちょ銀行・りそな銀行

このリーフレットに同封している「特定寄付金申込書」付属の「払込取扱票」を申込書とさせていただきますので、必要事項をご記入の上、ゆうちょ銀行またはりそな銀行の各本支店からお振り込みください。
※同封の用紙をご使用の場合、振込手数料は無料です。

銀行のATMから

振り込みの画面で、お名前の欄に、以下の順に入力してください。

- ① 学園との関係(A: 卒業生、B: 在校生保護者、C: 教職員、D: その他)から選び、アルファベットで入力
- ② 寄付内容の公開区分を(1: ご芳名・金額とも公開可、2: ご芳名のみ公開可、3: 匿名希望)から選び、数字で入力
- ③ ご氏名、電話番号を入力してください。

●入力例

卒業生の関倉太郎さん (TEL0726436321) がご芳名・金額とも公開可という場合：
A1カンクラ タロウ 0726436321 となります。

※領収書を発行する際、お名前を確認するため、電話をさせていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。
※②の公開区分が入力されていない場合は、ご芳名のみ公開として取り扱わせていただきます。

ネットバンキングから

上記銀行 ATM からの振り込み同様に、①学園との関係 (アルファベット)、寄付内容の公開区分 (数字)、ご氏名、電話番号を入力してください。

注意 ATM、ネットバンキングとも、お手続きいただいてから2ヶ月以上経っても領収書が届かない場合は、学園募金事務局までお問い合わせください。

インターネットから(クレジットカード決済のみ)

学園ホームページに『学園募金』のページ (URL <https://www.kankura.jp/bokin/>) を開設いたしました。パソコンで上記 URL にアクセスしていただくか、スマホで右のQRコードを読み取ってアクセスしてください。

「学園募金」→「周年募金」ページを開いていただくと、寄付の申込画面が出てきますので、必要事項を入力していただき、あとは画面の指示に従ってお進みください。

※クレジットカード (JCB、VISA、MasterCard) によるご寄附のみとなります。



ご寄付いただいた方には、税の優遇措置があります。

■個人の場合

『特定公益増進法人』([税額控除]、[所得控除] による減免措置)

関西大倉学園に対する寄付金は、「特定公益増進法人」への寄付として、確定申告の際、[税額控除] もしくは [所得控除] のどちらかを選択して寄付金控除を受けることができます。

■法人の場合

『受配者指定寄付金制度』の利用による、損金算入が可能です。

日本私立学校振興・共済事業団を通じて寄付を行う「受配者指定寄付金制度」をご利用いただくことで、国や地方公共団体への寄付金と同様、全額を法人税法上の [損金算入] することができます。

ご利用の際には、必要書類 (私立学校振興・共済事業団の寄付申込書が必要になります) をお送りいたしますので、事務局までお問い合わせください。

お問合せ先

関西大倉学園「学園創立120周年記念事業実行委員会」学園募金事務局

〒567-0052 大阪府茨木市山室 2-14-1

TEL 072-643-6321

FAX 072-643-8375

E-mail bokin@kankura.ed.jp

Road to 2022

新たなる
ステージへの道



学園のさらなるSTEP UPのために

「学園創立120周年記念募金」

ご協力をお願い



学校法人 関西大倉学園
関西大倉同窓会・育友会・PTA



吹き抜けの広がる中央共用棟エントランス



次世代教育の拠点となる図書館



完成した新高校棟

関西大倉学園120年のあゆみ

- 1902 (明治35) 年
平賀義美、関西商工学校創立。北区堂島浜通2丁目の市立大阪高等商業学校内に仮校舎設置。
※1948 (昭和23) 年4月、関西実業高等学校となる。
- 1907 (明治40) 年
大倉喜八郎、大阪大倉商業学校創立。北区常安町32番地に校舎設置。
※1948 (昭和23) 年4月、大阪大倉商業高等学校となる。
- 1948 (昭和23) 年
関西実業高等学校と大阪大倉商業高等学校の両校が合併し、関西大倉高等学校と改称。大阪市大淀区大仁本町に校舎設置。
- 1963 (昭和38) 年
現在地茨木市室山に全校移転。
- 1984 (昭和59) 年
韓国善隣商業高等学校 (現・韓国善隣インターネット高等学校) と姉妹校結縁調印。
- 1994 (平成6) 年
関西大倉中学校開設。
- 1997 (平成9) 年
中学校、男女共学となる。
- 1998 (平成10) 年
新制高校創立50周年を迎える。
- 2000 (平成12) 年
高等学校、国際コース設置、男女共学となる。
- 2002 (平成14) 年
学園創立100周年を迎える。
- 2009 (平成21) 年
新体育館完成
- 2022 (令和4) 年
新校舎 (高校教室棟、中央共用棟) 竣工
学園創立120周年を迎える。

ご挨拶

学園創立120周年記念事業実行委員会委員長
周年募金委員長

高寺 清



関西大倉学園は、1902 (明治35) 年創立の関西商工学校と、1907 (明治40) 年創立の大阪大倉商業学校に始まり、1948 (昭和23) 年の両校の合併による関西大倉学園の誕生を経て、来る2022 (令和4) 年10月に学園創立120周年を迎えます。現在、生徒数約1,865名、教職員160名を擁する学園に成長するとともに、これまでに50,625名 (2020年3月現在) の卒業生が社会に巣立ち、各界で活躍されています。

現在、120周年記念事業の校舎立替工事が進められています。すでに7月には新高校棟が完成し、すでに使用されています。また茨木学舎のシンボルであった六角棟 (旧本部棟) の撤去工事も終わりました。並行して教育付帯施設・設備の工事今後、進められる予定ですが、この機会に関西大倉学園のブランド価値を見直し、強みを掘り起こし、建学の精神に立ち戻って、世界的見識を養い、人生を生き抜く指針を育てる「まなざしをこころざしへ」というスローガンを掲げ、社会に発信しようという取り組みも進めています。

このような折、新型コロナウイルスの感染が拡大し、経済活動に甚大な影響を与えるとともに、社会生活全般が大きく変貌してきています。教育環境も社会の変化に対応し、いわゆる「新常态」に適合したものにしていかねばならず、教育付帯設備の拡充は必須のものとなります。

新校舎の建て替えには45億円の工事費が見込まれていますが、こうした教育付帯設備の整備につきましては、募金での対応を考えており、目標額を3億円に設定し、昨年度から周年募金事業を進めさせていただいています。つきましては、新型コロナウイルス感染拡大の行方を見通せないという状況下ではありますが、生徒の皆さんが充実した学園生活を送れるよう、教育施設の整備に努めてまいりますので、保護者、卒業生の皆様をはじめ広くご関係の皆様方に、新たな学園躍進の意気込み、施策をご賢察のうえ、格別のご支援、ご賛助を賜りますように切にお願い申し上げます。

2020年12月吉日

学園創立120周年記念事業実行委員会

学校法人 関西大倉学園	関西大倉中学校・高等学校	関西大倉同窓会
理事長 倉田 薫	学校長 古川 英明	会長 高寺 清
関西大倉育友会	関西大倉高等学校	関西大倉中学校
会長 中島 茂人	PTA会長 堺 潤	PTA会長 桑原 靖典

新校舎の概要

- 建築仕様・概要 (高校教室棟+中央共用棟)
 - 構造 鉄筋コンクリート造
 - 規模 高校教室棟：地上4階
中央共用棟：地上3階、地下1階
 - 施設内容 [高校教室棟]
 - 1階 食堂、職員室、進路指導室、職員用更衣室、会議室
 - 2階 高校3年教室
 - 3階 高校2年教室
 - 4階 高校1年教室
 - [中央共用棟]
 - 1階：情報処理実習室、保健室、視聴覚室、購買部
 - 2階：図書室
 - 3階：理科実験室、物理実験室、化学実験室、生物実験室、法人事務室は本部棟 (旧中学校棟) に移転しました。
 - 中学校は0号棟に移転しました。
- 建設計画概要
 - 建設場所 現1・2・3・4・5号棟跡地
 - 竣工時期 2022年7月
 - 建築面積 高校教室棟：1,920㎡
中央共用棟：1,700㎡
 - 延床面積 高校教室棟：7,300㎡
中央共用棟：3,900㎡
 - 総事業予算 48億円 (募金3億円を含む)

「学園創立120周年記念募金」募金要項

- 募金の名称 「学園創立120周年記念募金」
- 募金の目的 新校舎建設と教育施設整備
 - 体育館の空調設備設置
 - 太陽光発電設備
 - グラウンド整備 (芝生化含む)
- 募金対象者 在校生保護者、卒業生、一般 (個人・法人)
- 募金目標額 3億円
- 寄付依頼額
 - ①在校生保護者 1口1万円
 - ②卒業生 1口1万円
 - ③一般・個人 1口1万円
 - 法人 (①②を含む) 1口5万円
- ※いずれも可能であれば、2口以上のご寄付をお願いいたします。
- ※1口あたりの金額で設定しておりますが、金額にかかわらずありがたく頂戴いたします。
- ※継続的なご支援を賜りましたら、幸いです。
- 募金期間 2019年4月～2023年3月
- ご寄付いただいた方への謝意について
 - ご寄付いただいた方のご芳名は、①学園広報誌『サイカス』に掲載 (同時に学園ホームページにも掲載されます。)
 - ②学内に銘板を設置により公開し、末永く受け継いでいきます。